組合員数109,392人
支部数　943
読者数　67,122人
（5日現在）
〔連絡先〕☎03（5978）2751　FAX03（5978）2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第386号　2022年2月15日（火）
（通巻第585号）
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人　杉澤　隆宣　月刊1部100円（組合費に含む）
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

こういう組織があること知らなかった
大切なことなので応援したい
聞いていた男性が加入
岐阜・多治見支部　新春の年金支給日宣伝で

岐阜・多治見支部では年金者組合のことを知ってもらおうと昨年の10月から毎月、年金支給日の15日に宣伝を行っています。1月15日は地元の大型スーパーの前で、年金者組合のオレンジの法被を着て10人で行動しました。

最低保障年金制度の確立やマクロスライド制廃止を訴えるのぼり旗、プラスター、「年金者組合に入りませんか」と刺しゅうした横断幕などなるべく目立つように工夫しました。組合役員二人が組合紹介や年金を減らす政権の嘘やごまかしに騙されないようにと訴えました。

行動を終わろうとしていた時、ひとりの男性が寄ってきて「ずっと聞いていて大切なことやと思うので応援したい。今までこういう組織があることを知らなかった」と言いました。さっそく「では、入会してもらえませんか」と言うとその場で住所や名前を書いて加入しました。強い北風の中、宣伝効果を確信、とてもうれしい出来事でした。

（宮地純二）

大型スーパー前で手作りの横断幕やプラスターを持って

厚労省交渉　年金者組合と全労連で
基礎年金の国庫負担金3.3万円をすべての高齢者に

年金者組合は全労連と協力し、12月22日厚労大臣に「国民のいのちと健康、高齢者のくらしを守るための施策の拡充を求める要請書」を提出し交渉しました＝写真。

年金に関する要求は、①2022年度年金改定は減額しないこと、②全額国庫負担による最低保障年金制度実現の実現と、基礎年金の国庫負担分約3・3万円はすべての高齢者に保証することの2項目で、②について交渉を行いました。

厚労省からの回答は、「すべての高齢者に一定額の年金保障は、多額の財源が必要になり、保険料を払っている方々と、払っていない方々との間の公平性をどう担保していくのかといった課題があり、慎重な検討が必要である」「低所得や無年金・低年金の高齢者の方々に対しては、公的年金のみならず、社会保障制度全体で総合的に支援していくことが重要であると考えている」「この観点から、年金受給資格期間の短縮、医療・介護の保険料負担軽減、年金生活者支援給付金の支給、といった支援措置を実施など、様々な施策により、できる限り高齢者の暮らしが安定するよう、支援していきたい」と回答しました。

（中央本部・廣岡元穂）

署名推進本部を設置
中央本部

年金者組合は、署名推進本部（本部長・杉澤隆宣中央執行委員長）を設置し、全労連と共同で取り組む「雇用と年金署名」、「後期高齢者の医療費窓口負担の2倍化反対署名」、「憲法改悪を許さない全国署名」を、「三大署名」として次のように全力をあげます。

▽雇用と年金署名（年金署名）国民春闘共闘・全労連・労働法制中央連絡会が連名で取り組む「年金署名」は初めてで、50万筆達成へ力を尽くします。

▽憲法改悪許さない全国署名（憲法署名）昨年の総選挙後、岸田内閣の下で憲法改革にひた走る状況が生まれています。「9条改憲NO！全国市民アクション」が呼びかけた「憲法改悪を許さない全国署名」に1人5筆以上、5月末を第一次集約、年末を第二次集約として取り組みます。

▽医療費負担2倍化反対署名（2倍化反対署名）「医療費窓口負担の2倍化反対署名」については、3月末までの実施を延長し、10月まで取り組みます。

あわせて「請願権」を発揮し、地方自治体や議会への陳情や意見書採択にも取り組み、「三大署名」の運動を通じて組合員拡大に結実させていきます。

今年の三大署名
- 雇用と年金署名（全労連と共同で）
- 医療費負担2倍化反対署名
- 憲法改悪を許さない全国署名

風雪

▼コロナ、人権の問題にフタをして、北京冬季五輪が始まった。50年前、「風雪」子の故郷札幌で五輪が開催されたときのIOC会長はアベリー・ブランデージだった。

▽五輪からプロ選手を排除し続けたブランデージは、「ユダヤ人嫌悪」、「黒人差別」の信念も生涯不変だった。ナチのユダヤ人迫害を否定し、1936年のベルリン五輪誘致に尽力。戦後も白人黒人隔離の「アパルトヘイト」も認めた。

▼二代後のIOC会長サマランチも負けてはいない。ファシスト党の党員であり、「五輪商業化」に舵をきって、巨額のわいろが乱れ飛ぶ「五輪招致合戦」へ道を開いた。

▽さて日本。そのワイロを送って告発された竹田恒和元JOC会長の弁護料2億円は全額JOC負担。「私的な利益や動機はない」から当然なのだと。悪人と大企業がばっこし続ける五輪の誘致などやめさせましょうよ、札幌の皆さん。